

普通科目（ 地理 B ）の学習指導案 18No4

1. 指導目標

- (1) 防災マップに関する知識を身につけさせる。
 (2) 防災マップの実践的な活用技術を身に付けさせる。
 (3) 防災マップには、知的財産権があることを認識させる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間 (分)	指導上の留意点
導 入	・ 本時の目標を確認する。	5	・ 地元の防災マップを見せ、興味づけをする。
展 開	・ 防災マップとは何かを説明する。 (1) 国土庁防災マップなど ・ 防災マップの種類について説明する。 (1) 地震・津波 (2) 火山災害 (3) 水害、土砂災害 (4) 森林火災など ・ 東海・南海地震の防災マップを例にして、地図から読み取れるものを話し合わせる。 (1) 何が分かるか。 (2) 他にどのような情報がほしいか。	40	・ 災害に対して脆弱な国土条件にあるわが国において、国民の生命・身体・財産等を災害から守るために防災マップが作られたことを理解させる。 ・ それぞれの防災マップのもつ意味と意義について考えさせる。 ・ 防災マップの活用方法について具体的に考えさせる。 ・ 震度や津波の高さを読み取る。 ・ 今までに無い防災マップを創出すると、社会に貢献できるとともに、それが知的財産となることを理解させる。
整 理	・ 本時のまとめをする。	5	・ 防災マップは知的財産であることを確認する。
備 考	「地理 B」〈東京書籍〉P230～P234 「諸課題をとらえる方法（地図化する）」 「楽しむ学ぶ世界地理 B 最新版」〈帝国書院〉P168～P173 「地図でとらえる現代世界」		